

No. 994

ベトナム和平

その地は長い間戦場であった。
人々は、絶えまなく爆音と銃声に追われ、荒れ果てた大地を逃げまどった。
死と死の間で、平和を祈る永い歳月が過ぎた。
1973年1月27日、ベトナム和平協定は正式に調印された。

『列島改造』すれ違い

—第71特別国会—

1月27日から始まった第71特別国会。田中内閣総理大臣は施政方針演説で外に平和、内に福祉の新時代のとびらを開くことは必ずできると説明。

総理の主唱する日本列島改造論も、着々と国土総合開発の道として発展しつつある。しかしその中で、国民の生活は苦しくなる一方。インフレを招く予算だと批判の声は大きい。

物価問題は、政府が一番重点をおいてやってきたというが、現実は、値上げ値上げに国民が泣く状態。つい先日も、1丁70円の豆腐が店頭に並ぶ。主婦は口をそろえて、総理に直訴したいという。

福祉についても西欧先進国には劣らない。5万円年金や65才以上の老人医療の無料化や心身障害児の施設整備拡充などのために大幅な予算をつけたと田中総理。

東村山市にある心身障害者施設「秋津療育園」の理事長は、資金的な面ではなんとかぎりぎりやっていけると思うが問題は人不足だ。

施設を増やすというが、現実はどの施設も人がいないために空ベッドが相当ある。入りたくとも入れないため、心中という不幸な事件が相次いでいるではないか。

金だけでは解決できない面をもつと考えて欲しいという。

土地問題は政治が直面している最大の課題であり、私権を押さえても公益を重視していく施策をとると田中総理しかし、地価は高騰に高騰を重ね、もはや、庶民に土地付マイホームなど手が届きそうにもない時点に来てしまった。たった15坪の敷地に建築法違反を承知で建てられていく2階建2LDK。これで1700万円だ。

代表質問で、石橋政嗣議員（社会党）は、「土地問題は一番大切だといったが、これを招いたのは総理の列島改造論だ。これを正式に撤回せよ！」とせ言った。

第71特別国会『列島改造』は国政の声とはすれ違ひの中で、おしすすめられていくようだ。